

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38736
事業名	市有施設のゼロエネルギー化実証費					
評価担当課	所 属	環)環境都市推 環境エネルギー			電話番号	011-211-2872
施策名	脱炭素社会の早期実現に向け、更なる省エネルギー化に加え、北海					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	● 全部委託	○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市気候変動対策行動計画では、市有施設のZEB相当以上の省エネ性能を持つ新築・改築建築物の割合を80%以上に引き上げることが目標としている。 しかし、積雪寒冷地の公共でのゼロエネルギー化(ZEB化)の実績は少なく、特に改修におけるZEB化はほとんどない状況である。 そのため、本業務においてそれぞれの施設にあったZEB化の手法を検討し、そのノウハウを蓄積することで新築・改築、さらには改修時にZEB化を進めていく。
	事業内容(何を実施し)	<事業内容> 市有施設を対象とした、ZEB化に向けた調査を行う。 <活動実績> 令和5年度は、既存の4施設を対象に新築・改築時と改修時を想定し、ZEB化に向けた調査を実施した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市有建築物で得られたゼロエネルギー化のノウハウやメリット等を市内事業者及び市民へ普及させ、市内の温室効果ガス削減を図る。
	他都市の状況	久留米市では既存公共建築物ZEB化可能性調査業務によりZEBを改修で2施設竣工、大阪市では市設建築物のZEB化導入に向けた調査業務により市の実情に合ったZEB化プランを調査済み。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	3,080 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.7 人工
令和5年度予算額	14,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.7 人工
令和5年度決算額	9,460 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.7 人工
令和6年度予算額	5,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.7 人工

指標	アウトプット活動指標1	市有施設のゼロエネルギー化の検討実施件数(件)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		7	16	7	23	23	23
	↓						
	アウトカム成果指標1	市役所の温室効果ガス排出量(万t-CO2)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		66	61.9	65.4	57.8	53.7	49.6
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	継続してZEBとなる施設が増えるようフォローアップしていく。成果指標1の令和5年度実績は、集計・公表するのに2年を要するため、当年度に把握した前年度値となっている。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	市有施設の改修においてZEB化するための手法や今後の方針を検討する。
来年度以降の方向性	令和6年度にて事業終了予定